

## COP10 in 三重 アジア・太平洋ユース生物多様性宣言文

この度 COP10 in 三重に参加した私たち、アジア・太平洋地域のユースは、今回の伊勢湾洋上学習と亀山での里山学習の経験を生かし、アジア・太平洋、さらに世界の生物多様性の保全及び生物資源の持続可能な利用の為にこの宣言文を作成しました。

私たちは、これまで山、川、大地、海、自然とそこに生存するさまざまな生物からたくさんの恵みを受けてきました。しかし、現在、人間の手による外来種の移入、気候変動に伴う温暖化、自然の破壊等によって、それら生物の多様性が失われつつあります。私たち人間は生態系の一部であり全ての命が互いに関係しあっている、ということを再認識する必要があります。今私たちは、国を越えた地球上全ての命が共存できる世界を創るために、具体的な計画を作り行動しなければなりません。

従って私たちは、地球上の全ての命が調和する持続可能な世界を創る為に、次のように宣言します。

### 1 私たちは生物多様性を守り、これを豊かにする為に知識を身につけ、行動します

現状の問題を把握しその解決にむけて、生物多様性の正しい知識を身につけます。

自然と多く触れ合い、現場を知り、自然の大切さを実感して責任ある行動をしていきます。

### 2 私たちは今ある生態系がこれ以上破壊されないように努めます。

今回の経験から得た知識を地域の人々と共有し、地域の生物多様性の保全活動を展開します。

生物多様性に配慮した商品を購入していくとともに、日常生活での水、エネルギー、生物等の資源利用の無駄をなくします。

### 3 私たちはグローバルな視点を持ち、アジア・太平洋ユースネットワークを強固にし、問題解決にむけ協力します。

アジア・太平洋ユースネットワークを構築し、意見交換を継続的に行い、さらに世界の生物多様性の保全を促進させます。

各国の政府に対して、遺伝資源の利用から生じる利益の公平な配分を要請していきます。

### 4 未来世代へのビジョンを持ち、知恵を絞り、次世代へ恵まれた生物多様性を残すように努めます。

生物多様性に関する意識を向上させていく為に持続発展教育（ESD）の強化を要請します。

将来、私たちは各国のリーダーとして、連続的な生物多様性の大切さを自覚し、未来の世代に繋げていきます。

私たちは遺伝資源から生じる各国の利益を平等にし、平和で豊かな世界を目指します。そして生物多様性を失うことなく、自然と人間が共存し、多様な種があふれる世界を 2050 年までに実現します。命あふれる地球を未来の世代に引き継ぐことが、今を生きる我々の使命です。そこで 2050 年ビジョンを掲げ、今後私たちが環境人材として、情報を発信し、協力し、活動を展開することで、生物多様性の減少をくい止めます。そして全人類が自然と共存し幸せな生活が出来るようになります。この使命を果たすため、共に努力を惜しまないことをここに宣言します。

2010年10月16日

アジア・太平洋地域ユース一同